

新たな防衛計画の大綱～未来の礎となる防衛の在るべき姿～

令和元年7月27日（土）、兵庫県神戸市のTKP神戸三宮カンファレンスセンターにて、第36回防衛セミナー「新たな防衛計画の大綱～未来の礎となる防衛の在るべき姿～」を開催しました。開催当日は、台風の影響もあり、あいにくの天候でしたが、予想を超える多くの方々にご来場いただきました。

今回の防衛セミナーは、平成30年12月18日に策定された新たな「防衛計画の大綱」と「中期防衛力整備計画」について理解を深めていただくことを目的として実施したもので、まず防衛省防衛研究所の室岡鉄夫理論研究部長が「朝鮮半島の軍事情勢」について講演し、次に防衛省防衛政策局防衛政策課の伊藤総括班長が「新たな防衛計画の大綱・中期防衛力整備計画」について講演を行いました。その後、NPO法人インド太平洋問題研究所の簗原俊洋理事長をモデレーターとして、室岡理論研究部長及び伊藤総括班長のほか、産経新聞大阪本社編集局政治国際部の石川有紀記者、神戸大学大学院及び法学部の学生に参加していただき、パネルディスカッションを行いました。

パネルディスカッションでは、韓国に留学経験もあり、日韓関係に詳しい石川記者と、歴史から安全保障等について学ばれている神戸大学大学院及び法学部の学生から、各講演に対する質問が行われ、我が国の安全保障について、活発な討論が行われました。

来場者からは「もっと聞きたかった」、「パネルディスカッションに学生の意見があったことで、内容を身近に感じることができた」、「若い世代が多く参加していて頼もしかった」などの感想をいただいた一方で、「会場が狭かった」、「質疑応答の時間がほしかった」などのご意見もいただきました。今後とも皆様からいただいたご意見を参考にしながらセミナーの開催に努めてまいります。



講演の様子



パネルディスカッションの様子

